

ケーススタディとワークショップで学ぶ

経営管理の視点で捉える 原価管理講座

～ 経営層の悩みに応えられるようになる! 実践型研修会 ～



[本研修の特徴]

- 少人数でのグループワークを中心とした受講者参加型の研修です
- 原価管理の理論と実務を、経営管理の括りの中で実習をしながら学びます
- 他社の考え方や管理手法を知ることによって“気づき”が得られます
- 教科書的なテキストではなく、具体性に富むテクニカルな事例が教材です
- 講師は、大手総合電機メーカーで長年原価管理部門の責任者として従事した企業人が務めます
- 懇親会を設けます。講師を交えて相互に交流を図ってください

[受講対象]

製造業の企業で原価管理を担当されている方

(原価計算などの基礎的な知識はあり、さらなるレベルアップを目指している方 など)

[参加定員]

25名(先着順)

[会場]

大阪キャッスルホテル

[開催日]

2019年10月17日(木) 9:30~19:00(懇親会含む)

[講師]

越智 貴隆 氏 (パナソニックOB)

受講対象

製造業の企業で原価管理を担当されている方 ※これから担当される方もご受講いただけます。

開催日

2019年10月17日(木)

受講料

66,000円(税込)

会員特別価格 **59,400円(税込)**

※テキスト代、昼食代、懇親会費が含まれております。

会場

大阪キャッスルホテル

大阪市中央区天満橋京町1番1号

参加定員

25名(先着順)

※このセミナーでは、事前に検討課題をご送付します。
お早めにお申し込みください。

注意事項

キャンセルについて 少人数のグループ討議を交えての研修のため欠員が出ますと進行に支障を来しますので、直前のキャンセルはお控えください。参加者の変更は可能です。万が一キャンセルされる場合にはキャンセル料を申し受けます。予めご了承ください。

- 開催日の14日前から前々日…受講料の30%
- 開催日の前日、当日…受講料の全額

申込方法

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りいただくか、ホームページからお申込みください。
受講票と請求書を発行いたします。

FAX:06-6943-2253 当社HP:<https://www.zeiken.co.jp/seminar/>

No.122097 経営管理の視点で捉える原価管理講座 申込書<FAX>

お客様コード													
郵便番号	〒	所在地											
フリガナ					TEL								
会社名					FAX								
参加者	部課名												
	氏名	フリガナ								フリガナ			
	e-mail(必須)												
支払い方法 (お選びください)	<input type="checkbox"/> 銀行振込(手数料はお客様負担)		申込担当者 部署・氏名										
通信欄	<input type="checkbox"/> 郵便振替												

個人情報保護方針について：ご記入頂きました個人(法人)情報につきましては、当社商品の案内やセミナー開催に関する情報を提供する以外の目的では利用いたしません。
又、登録情報は厳重に管理し、第三者に開示することは一切ございません。

お申込み・お問合せ

株式会社 税務研究会 関西総局

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 (OMMビル5F) TEL:06-6943-2251 FAX:06-6943-2253



高度経理人材育成

MARUNOUCHI ZEIKEN ACADEMY

経営管理の視点で捉える原価管理講座

～ 経営層の悩みに応えられるようになる! 実践型研修会 ～

カリキュラム(予定) ※このセミナーでは事前検討課題をご送付いたします。

原価管理と財務諸表

9:30～12:00

原価と経営を俯瞰的に理解する

- 1 原価の経営との関わり
- 2 経営に役立つ管理会計における原価管理(ケーススタディ含む)
- 3 製品開発原価管理の重要性

原価管理の実践編

13:00～15:30

物差しとなる標準原価の活用と具体的原価低減による経営検討

- 1 標準原価の理解(ケーススタディ)
- 2 実際に発生する原価と標準原価の活用(ケーススタディ)
- 3 原価低減を中心とする経営体質強化検討会(グループ討議)
※事前検討課題で、各人が考えた改善策を、グループとして最良策にまとめていただきます。

経営管理の中での原価管理

15:45～17:30

経営視点での原価管理と経営判断

- 1 原価管理の経営視点
- 2 原価管理における諸問題
- 3 限界利益方式(P/L)による経営演習(経営判断)(ケーススタディ)
- 4 『振り返り』による理解の定着

懇親会

17:30～19:00

講師紹介

越智 貴隆 氏

パナソニックフィナンシャル・アカウンティング&HRプロパートナーズ(株)(PFP社) 経理サポート本部 経営支援部 シニアアドバイザー

1973年松下電器産業(現パナソニック)入社、空調事業部配属。
1981年電子部品事業部異動、以降経理責任者などを歴任。
1988年アメリカ、1996年インドネシア子会社取締役、2006年同社(2回目)副社長。2008年部品会社常任監査役。
2010年定年退職後、PFP社入社。



原価管理は製造業だけでなく、建設業・サービス業・ソフトウェア業等あらゆる分野で重要な業務です。

原価をマネジメントすることは企業の儲けを左右する極めて重要な経営マターです。ゆえに、実務担当者は、経営層への的確な情報提供が求められます。

一方、教科書で学ぶ原価管理の一般論を、各社の実情にそのまま当てはめることはできません。同じ製造業でも、扱う製品や企業理念などの違いにより、原価管理の考え方・手法が様々だからです。

つまり、原価管理とは最適解が用意されていない、非常に難しい分野なのです。

最適解を求めるのは難しいかもしれませんが、経営視点で見た場合、管理ポイントの共通項や経営者への支援ツール等については、このセミナーの中で気付いていただけるでしょう。

少人数ワークショップを通じて原価管理の実務力を高めていただくとともに、他社の手法や考え方を知ること、実際の経営検討や経営談議に参画する機会にさせていただければと思います。